



最高賞「エコの島大賞」 宮古総合実業高校島ラボ部

グルクンとそばの実で宮古島を守る
～地域と連携したソース作り～

地下水汚染とアギヤー漁消滅危機の解決に向けて！！

第2回目のエコの島大賞に輝いた、宮古総合実業高校島ラボ部。
化学肥料などに含まれ、地下水汚染の原因と考えられている硝酸性窒素を吸収する「日本そば」と宮古島の近海で獲れる「グルクン」を組み合わせ、地元の企業との連携で開発したガーリックソース、「グルッと♪ガーリックン」の紹介を行いました。

◆その他の受賞団体とテーマ◆

【特別賞】

- ・ハッピー WAON 賞：宮古島サンゴ礁ガイドのなかまたち「サンゴ礁保全のための啓発活動」

【部門賞】

- ・資源・エネルギー部門：宮古木工芸「島から世界へ MADE IN MIYAKOJIMA」
- ・ゴミ・生活環境部門：宮古の海を綺麗にし隊「宮古島ビーチクリーニング」
- ・学習・普及啓発部門：宮古島海の環境ネットワーク「海岸清掃、環境教育、海洋調査活動」
- ・生物多様性部門：宮古島自然クラブ「中学生エコガイド～大野山林の生き物紹介～」

「サンゴ礁を守るルールづくりを！」

同コンテストの中で、「サンゴ礁保全シンポジウム～宮古島の海を守ろう！～」が行われ、琉球大学名誉教授の土屋誠氏による「宮古島のサンゴ礁の恵み」の講演の後、サンゴ礁の保全に向けてのシンポジウムが行われました。

宮古島近海のサンゴ礁の状況について、「30年前と比較して残っているのは17%程度」や、「池間島周辺サンゴや9割以上が白化している危機的な状況」などの意見があり、「保全のためには海を汚さないこと」、「市民一人ひとりがサンゴの大切さを知ることから始める行うことが重要」という意見や、「サンゴ礁の保全ではなく、再生への活動の時期であり、地域全体でのルールをつくる必要がある」など、今後に向けての提言がありました。



Eco Island MIYAKOJIMA NEWS

エコドライブコンテストの表彰式を行いました！



平成29年12月18日～平成30年1月19日の期間で開催された「エコドライブコンテスト」の表彰式が行われ、「☆Show和40☆」チームが優勝しました。エコドライブコンテストとは、スマートフォンアプリと車載機を用いて参加者の目ごりの走行データを数値化して競う、ゲーム感覚のECOドライブイベント。エコアイランド宮古島の取り組みの1つとして初開催され、市民の「ECOドライブ」による二酸化炭素(CO2)排出削減を目指しています。

～未来に架けるEcoの架け橋～



第2回「エコの島コンテスト」開催！

エコアイランド宮古島宣言

1. 私たちは、島の生活を支えるかけがえのない地下水を守ります。
1. 私たちは、美しい珊瑚の海を守ります。
1. 私たちは、みんなの知恵と工夫で、限りある資源とエネルギーを大切にします。
1. 私たちは、ゴミのない地球にやさしい美^{みやこ}島宮古島を目指し一人ひとり行動します。
1. 私たちは、よりよい地球環境を取り戻し・守るため、世界の人々とともに考え・行動し、未来へバトンタッチします。
1. 私たちは、緑・海・空を守り、すべての生物が共に生きていける環境づくりのため行動します。

2008年3月31日
宮古島市

エコアイランド宮古島の実現に向けて、多くの市民や団体が連携し、主体的な取り組みとの重要性を伝え、楽しみながら参加しやすい仕組みづくりを行い、エコアイランドの取り組みに対する市民の関心を高め、さらなる活動の促進に繋げることを目的に、昨年に引き続き、JTAドーム宮古島で「エコの島コンテスト」が開催されました。

エコアイランド宮古島宣言の各項目に資する活動を行っている8団体が出場しそれぞれがエコ活動について、プレゼンテーションやブース展示で紹介しました。来場者による投票と審査員による審査の結果、「グルクンとそばの実で宮古島を守る」地域と連携したソース作り」と題して発表された宮古総合実業高校の島ラボ部が最高賞の「エコの島大賞」に輝きました。

エコの島コンテストは、宮古島市が宣言した「エコな島創りを推進する」エコアイランド宮古島宣言の実現に向けて、市民の皆様と一緒に取り組むためのプロジェクトです。エコな活動に取り組む市民・団体の方々に募集して、活動内容を審査・表彰するコンテストになっています。

コンテストの副賞には、宮古島市とイオン株式会社が締結した「地域貢献協定」の取り組みの一貫として発行された「エコアイランド宮古島WAONカード」の寄付金が充てられています。